

1年生学年だよ

メリハリ つながり チャレンジ

令和5(2023)年6月15日 第19号

吹田市立第二中学校第一学年

マイクロアグレッションって知ってる？

ジェンダーについて学んだ前回の授業に引き続き、性的マイノリティ、いわゆる「LGBTQ」についての理解を深める授業を行いました。

以前の通信にも書いたように、世の中は少しずつ、そうしたマイノリティへの理解が深まってきているように思います。しかし、それでもまだ差別や苦しい思いをしている人が多いのも事実。今回の動画を見て、みんなも色々と考えたのではないのでしょうか。

今回のような授業を行ったのは、みんなに正しい知識を身につけてほしいからです。マイノリティの方が苦しむのは差別をしてやろう、と悪意を持った人に出会った時だけではありません。正しい知識をもっていないために、傷つけるつもりはなくても、自分の発言や行動で相手を傷つけてしまうことをマイクロアグレッションといいます。

自分は傷つけるつもりがなかったのに、自分のせいで苦しむひとがいたら、みんなはどう思いますか？

LGBTQ の人は世の中に3~5%いるという話がありました。当然あなたの周りにもそうした人がいるかもしれません。これを読んでいるあなた自身も、誰にも言えない思いを抱えているかもしれませんね。

正しい知識を身につけていくことは、マイノリティ（少数派）の人にとっても、マジョリティ（多数派）にとっても過ごしやすい集団の第一歩になるのではないのでしょうか。性別や属性に関わらず、その人をその人自身として受け止めてあげる人間関係を作れたらいいよね。

世の中には様々な違いがあります。「性」の授業に引き続き、今日からの授業は「外国」について。プーさんこと夫先生の授業で学んだこと、思い出してみてね。

マイクロアグレッションの定義
・マイノリティの属性を持った人に対して 尊厳を傷つける・敵意を示す・排除をする言動
・言葉の裏に隠された攻撃的なメッセージがある
・発している側は自覚がないことが多い

今日の授業の感想 一人一人ちがう、色んな人がいるのぼはあたりまえ。

自分が人に対して「オカヤン」とか「オネヤン」とか意識してない内に差別していた。自分も言わないように意識する。他の人が言ったら注意する。

ずっと平等にしたいとかを思っていたけど、知らないうちに差別する言葉を使ってしまったかもしれないから、自分の発言に気をつけようと思いました。

自分がおもっていた事(女の人はこちら、男の人がこちらというの)が差別だった。その人がいやな事だったら、少しでも考え方をかえたいと思った。もしそんな人がいたら少しでもよりよくあけたら。

軽やかに性の多様性を言ってくれない、対応が怪しい。これではあつはあつない、いつかは理解される日が来るらしいと思った。

「それが」を好きになってもいい。

「人」と区切られてるけど、その中にも色んな「人」がいて、一人一人色んな色をもっている。



性に多様性があるように、性格や趣味、好きなものも人それぞれ。そんな違いを「もちあじ」として認め合える学年になれば、ありのままの自分を出せる、安心できる集団になるんじゃないかな。